

# サバイバル仙人レポート

こんにちはリアルです。

今回はテキスト形式でお話させていただきます。

本題に入る前にお知らせです。

前回お話をさせていただいたように、身体の栄養面に関しては細胞再生プログラムで解説していきます。

仙人プログラムは7月いっぱいまでですが、ご連絡いただければ細胞再生プログラムに参加出来ます（無料）ので感想を添えてご連絡ください。

[adad50@gmail.com](mailto:adad50@gmail.com)

また、仙人プログラムのコンサルについて。

セッションの予約はメンバーさんが自主的に入れる方式ですので、回数が未消化の場合は7月を過ぎても大丈夫ですので予約を専用のチャットワークでしてください。

このプログラムは共有コンテンツとして動画や音声・テキストを配布していますが、元々は一人一人カスタマイズしていくコースです。

是非、有効利用してください。

という事で本題。

## 反省点

いきなり反省というかお詫びですが、サバイバル仙人は私の感覚として・・・

「やりきれない感」

というのがあります。

元々のコンセプトとして、このプログラムを一言で表すと・・・

「これからの混乱・大変革時代を仙人のようにサバイバルしていく」

というのが当初の予定でした。

しかし、やりきれない感が残ってしまいます。

ですから、少なくとも身体の事。

栄養やアンチエイジングや疲れを知らないタフネスをシェアする内容は細胞再生にバトンタッチして引き続きシェアしていきます。

ただ、それでもやりきれない感があります。

なぜか？

それは2020年の自然や社会の変動、およびこれから起こるであろう変革について・・・

「このプログラムで考え方や対処法をシェア出来ただろうか？」

と自分自身に問うた場合、正直にYESと言えない部分があるわけです。

これは私自身のリソース不足というのがありますが・・・

- ・ 社会変動や自然の変動が予想より大きく、早かった
- ・ シェアしようと思うとマーヤ的な要素が増えてしまう

という2つの要因がありました。

## サバイバルとハートの開発

このサバイバル仙人のコンセプトと内容は2019年の秋に考えたものでした。

骨組みとしては、どのような社会状況や自然の変化があるうとも・・・

- ・粗食でも波動によってエネルギーが補給できる身体

というのが第一に取り組むべきテーマ。

ここの部分は最初のコンテンツであるハートのエネルギーをマスターして頂くと、個人差はありますが可能になってきます。

ハートが開いていくと、意識の変化は無論ですがそれによって身体へのエネルギーも供給されて、少ない食事と栄養で今までより活動的、健康的な身体になることが出来ます。

ちなみに、これはその人の運命のプログラム（カルマ）になりますが、不食になるケースも出てきます。

まあ、それはごくごく一部のケースにしても、そこまで口から摂取する栄養に依存しなくなるわけです。

しかし、いきなりそれをするとう栄養失調になってしまうので、最初は分子栄養学的なアプローチで健康な身体の土台を作っていくましようという話です。

この部分はある程度シェア出来たと思いますし、土台の部分の栄養的なアプローチについては引き続き細胞再生でも行っています。

ただ、社会的・自然的な大変動については十分な情報の紹介や対応はシェアしきれていませんでした。

## 大変動とカルマ

まあ、こう言ってしまうと身も蓋も無いですが、今後、どのような環境・状況の変化が起ころうとも、マイナスに見えるのは一時的なもので黄金時代とも言えるものがやってくるのはほぼ確実です。

ですから、例えなんらかの事情で私達の生命が絶たれても、心に・・・

- ・恨み辛み
- ・怒り
- ・後悔

・強烈なエゴ

などを抱えて死なない限りは心配ないわけです。

心の浄化と大いなる「それ」への信頼があれば、何が起ころうとも心配なく魂は次の段階へとステップアップしていく。

ですから心配は無いです。

ただ、そうは言ってもそれは基本というか、ある種の究極的なお話。

では具体的に何をしたらいいのか？

というと、ここの部分は個々人によって変わってきます。

個々人によって変わってくるというのは、人生の一つの目的を・・・

「カルマの解消」

という視点からみれば、人それぞれ課題があって違ってくるのは当然と言えます。

このカルマというのは良くも悪くもで、何らかの課題であったり表現する因子があるという話。

ですから、例えどのような社会的な変化があろうとも、己のカルマに沿った事象の認識や行動が出来ればOKなわけです。

## 今後の変化予想

それとは別に一般的な傾向としては大まかに言ってしまうと次の2点。

・IT化を進める、出来る人はAIなどの分野へ進出する。

というのが1つ。

もう一つは・・・

・農業など自給自足出来る分野に入っていく

というのが2つ目です。

それぞれ簡単に解説します。

## AIによる大リストラ時代

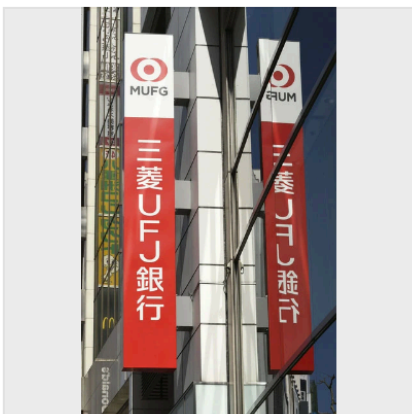
これは私が言うまでも無い事ですが、もの凄いスピードで進んでいます。

今はそれほど実感が無いかもしれませんが、2023年頃から顕著に感じ始めるでしょう。

一例を挙げるなら次のニュースです。

### 三菱UFJ、店舗数を4割減に 23年度末、アプリを充実

5/20(水) 11:41 配信



三菱UFJフィナンシャル・グループは20日、三菱UFJ銀行の店舗数を2023年度末に300程度にする計画を明らかにした。17年度末の515と比べて40%減となる。スマートフォンアプリの機能を充実させてインターネットバンキングの利用者を増やし、運営経費のかかる店舗を段階的に減らす。

三菱UFJが店舗数を4割減にというニュース。

これは他のメガバンクも同じように大幅に削減するという話。

これはコロナが流行ったから対面での営業を減らすという話ではありません。

6～7年前から削減する計画は出ていました。

ですから、前々から計画はあったわけです。

しかも、年々削減すると発表する数字が増えています。

例えば数年前は10～30パーセント削減とのことでした。

また、これは店舗の話であって、行員についてはおそらく40パーセント以上の削減になるでしょう。

なぜ、これ程の店舗、人数の削減なのでしょう？

答えは「ブロックチェーン」です。

## ブロックチェーン

ブロックチェーン化を行わないと、今、加速しているコンピューターを使ったハッキングにセキュリティー上耐える事が出来ない。

スーパーコンピュータの技術が向上し過ぎて、インターネット上のセキュリティーは今、破られるギリギリのラインだそうです。

ですから、なんとしても高度なセキュリティーをもつブロックチェーンを導入するのは必須。

また、それを導入した場合、今までの「店舗や人」は大部分が必要無くなる。

よって、4割削減しても支障が無い。

と言う話。

これがわかったのが5～6年前で、私達一般人が・・・

「ビットコインが儲かるらしい」

「仮想通貨って使えないよね」

とか言っている間に社会は大きく動いているのです。

具体的な計画

[https://www.boj.or.jp/announcements/release\\_2018/data/rel180214a6.pdf](https://www.boj.or.jp/announcements/release_2018/data/rel180214a6.pdf)

「いや、私は銀行勤じゃ無いし関係ないわ」

と思ったら甘いです。

銀行はわかりやすいので例に出しましたが、一言で言えば・・・

「人がいない社会」

が一部の業種を除いて一般化していきます。

現に2年ちょっと先に4割減ですから。

更にその先は？

みたいな話にもなってきます。

しかも、2020年からと言うか、このレポートを書いている7月現在も騒ぎになっているコロナ。

これが「無人化」を強烈なペースで加速化させています。

考えてみてください。

## 消える仕事と残る仕事

今、リモートワークでzoomを使い始めたとか、飲み会をzoomでやり始めた人って多いと思います。

もし、コロナがなかったら、おそらくこれ程のハイペースでリモート化は進んでいなかったでしょう。



ですから、コロナで様々なストレスをあなたも感じていると思います。

「感染したら嫌だな」

みたいなストレス。

しかし、実は今お話したような・・・

「社会変革が加速して、それに対応するストレス」

と言うのも実は今後、更に加速していくというのはおぼえておいてください。

特にホワイトカラーの仕事。

これらの仕事の大部分はAIにとって変わっていくと予想されています。

例えば、2015年に米オックスフォード大学と野村證券が601種の職業の変化を予想しました。

- ・ 一般事務
- ・ 銀行員
- ・ 警備員
- ・ タクシーやトラック運転手
- ・ 建設作業員
- ・ スーパーやコンビニ店員
- ・ 電車運転士
- ・ ライター（文章を書く仕事）
- ・ 集金人
- ・ ホテルその他のフロントマン
- ・ 工場勤務者

「仕事がAIにとって変わる」

というと遠い未来の話に聞こえますが、銀行の例を出したように変化は急速に起きています。

「でも人不足というのがニュースになっていませんか？」

と思っている人もいますでしょう。

この人不足問題ですが、これが起きている分野は・・・

「コンビニの店員がいない」

「すき家のアルバイト不足」

「工事現場の人員不足」

など、ほぼブルーカラーと呼ばれるものです。

この分野は仕事はあるのだけれど・・・

「そんな仕事やりたく無い」

という人が多いので労働者が不足しているだけです。

ちなみに、都内の方では・・・

- ・飲食店
- ・コンビニ

などは最近では外国人の従業員の方が多くなってきました。

これはブルーカラーも機械化、AI化は出来るのですが安い人件費で人を雇った方が効率がいいので現在はそうしているだけです。

しかし、ホワイトカラーはかなり前から余っているわけです。

しかし、会社側も人員整理したいのですが法律上なかなか解雇出来ない。

逆に言えばそれほど必要な仕事も無いと言えば無かったわけです。

それが判明したのが今回のコロナ騒動で推進されたリモートワーク。

これで・・・

- ・会社に行かなくても業務は回るケースが多い
- ・仕事をしない（出来ない）人がいても業務は回る

というのが実際に会社としても働いている側としても明確になってきました。

ただ、今までは企業側としても一定の体力はありましたので、一部の会社を除いては社員をホールドしていたのが現状です。

しかし、昨今のコロナにおいて、世界規模で経済がシュリンク（縮小）してきています。

旅行やホテルなどの業界は無論、それ以外の企業でもそう。

これはコロナで加速していますが、仮にコロナが無かったとしても、先の銀行の例のようにAI化によって起こっているのが現状です。

今はそれほど目立たなくても、あと2～3年以内に大きな変化として表面化してきます。

逆にAIが発達しても無くならない仕事は調査の結果、予測では・・・

- ・データサイエンティスト
- ・介護職
- ・営業
- ・カウンセラー
- ・コンサルタント

などなど。

この他にもありますが、人にしか出来ない仕事は必ずあります。

## IT化の流れに乗る

ですから、このサバイバル仙人でコンサルを受けている人や縁のある人には数年前から・・・

「ネットを使って自分の強みを生かしたビジネスをした方がいいですよ」

とアドバイスしていました。

これが最初に紹介した対処法・・・

「IT化の流れに乗る」

です。

本当ならAIやVRの開発、ブロックチェーンなどのプログラムが出来た方がいいです。

概ね知能指数が140以上あって、理系で専門の教育を受けられたり、適性がある場合はそういった分野は今後も爆発的に伸びていきますので、そういった分野を検討していった方がいいと思います。

しかしながら、残念ながら私もそうですが理系ではありませんし、そこまでの適正はありません。

ですから、開発はできないくともITの流れに乗った仕事は出来るわけですから、そういったスキルの習得はお勧めできます。

私も15年程前からインターネットに取り組んだおかげで、現在提供しているようなWEB講座を主催出来ているという現状があります。

これは今お話しているようなIT化の流れに乗れた結果です。

もし、ブログやメルマガやその他マーケティングの知識や技術がゼロだったら、今回のコロナ騒ぎで仕事が出来ずに一発アウト、もしくは苦しい状況だったでしょう。

同じことをするのでも・・・

- ・ 上のエスカレーター (IT化)
- ・ 下のエスカレーター (アナログ、現状維持)

というように、どちらの流れに乗るかで大きく結果は違ってきます。

「でも私の仕事はIT化出来ないわ」

という質問もあるかもしれません。

これは全部IT化しなくても、部分的には出来るはずです。

ITというと難しく感じますが、例えるなら電話。

電話は固定電話にしるスマホにしる、今や誰でも使っていますよね？

それがネットになっただけの話です。

ただの道具、手段です。

今の時代・・・

「私の仕事は電話ではうまく出来ないので、手紙か電報です」

というのは無いでしょう。

それと同じ感覚でIT化をすればいいだけの話です。

## 農業へ回帰

一方、IT化とは別に農業の分野もお勧めです。

なぜ農業かというと、一つには今後の自然・社会の変動によりインフレや食料難が起こる可能性は否定出来ないからです。

私自身は農業をやっていないので、具体的なお話は出来ませんが一部では今後の混乱期に備えて密かなブームになっています。

「大恐慌なんて起こらないんじゃないですか？」

「今、コロナや何やらで少し景気が悪いだけで少し我慢すれば元に戻りますよ」

という意見もあるかもしれません。

しかしです。

## 備えあれば

例えば空模様がイマイチで天気予報で雨が降るかもしれない時には傘を持って出かけますよね？

サバイバルという観点からいうと、日帰りでもいいので登山をします。

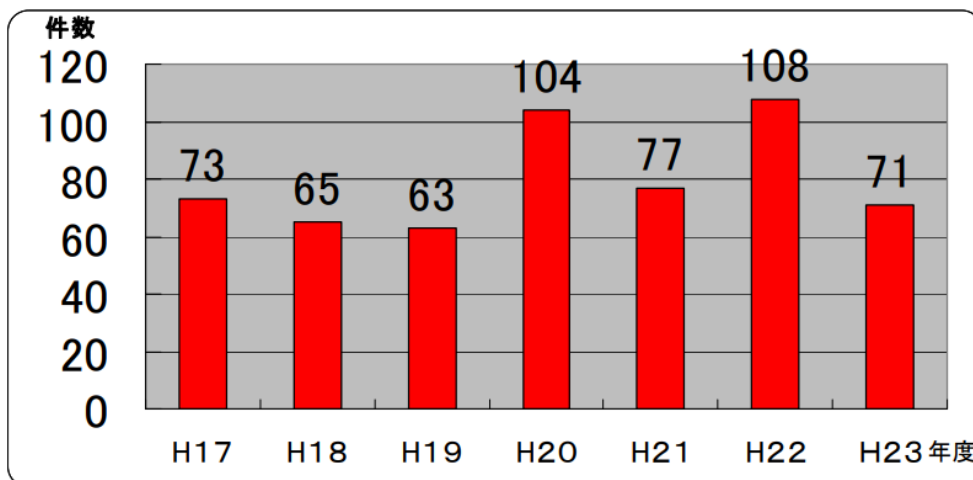
私の住んでいるところだと高尾山とかですか。

暖かい季節で天気の良い日なら・・・

- ・半袖、半ズボン
- ・手ぶら
- ・サンダル

で登れてしまいます。

でも、山は恐ろしいもので高尾山（標高599メートル）でも天候が悪かったり、観光ルートから少しでも外れると遭難してしまいます。



図－1 高尾山の事故発生件数  
資料：八王子消防署ホームページ

上の図のように毎年平均で70名前後の遭難や事故が発生しています。

なぜこれほど多くの事故や遭難が起こる原因として・・・

「安易に考えすぎていた」

というデータが出ています。

- ・ 登山という認識がなかった
- ・ 準備を何もしていなかった
- ・ 大丈夫だと思って奥に入っていった

などです。

何を言いたいかというと・・・

「選択肢を持つ」

という事が言いたいわけです。

選択肢を持つというのは・・・

「大丈夫だと思っても、一応、準備しておく」

という事。

高尾山を登るの時も、

- ・ 登るコースを把握しておく
- ・ 体調面を管理しておく
- ・ 登りやすい靴や服装
- ・ 気温が下がった時の予備の服
- ・ 雨が降ったときの雨具の準備
- ・ 水分や糖分など用意しておく
- ・ 無理はしない

などを心がけていれば、まず事故や遭難などしないものです。

これは今後の社会状況も一緒。

- ・ 会社に真面目に行っていれば大丈夫でしょ
- ・ コロナも一時的だし大丈夫だよ
- ・ もう戦争も無いし平和な時代が続くよ

という認識だとかなりヤバイです。

もちろん、未来はわかりませんからこのような100%楽観主義でも、もしかしたら通用するのかもしれませんが。

しかし、登山の例でお話したように、もしもの時に備えて準備やオプションがあった方がいいに決まっています。

私の周りでも大恐慌やサバイバル時代に備えて農業を始める人が大勢います。

いきなり農地を購入して農家になるのは大変ですが、リース等を使ってお試しで家庭菜園程度から実践するのはそれほどハードルも高く無いので、そういう方も増えています。

## 転換期

今は時代の転換期です。

以前は・・・

「都会に行けば仕事もあるし、なんとかなる」

という事で東京などの都市部に人が集中しました。

しかし、ご存知のようにコロナ一つをとっても・・・

「人が集中するところは避けましょう」

という時代です。

ですから多くの企業でリストラが今後始まっていきます。

今、様々な支援策を政府は行っています。

コロナ給付金的なものですね。

これはまだ初期段階だから色々と支援出来るのであって、今の状態が続いたり悪化したり長期化すると破綻していきます。

しかしです。

・会社が潰れても



- ・国の支援が無くなっても
- ・海外からの物流が滞り物価が上昇しても
- ・食料不足になっても

とりあえず畑でイモや野菜が収穫出来て、周りの農家とコミュニケーション出来ていれば飢えるということはないわけです。

それで5年～10年過ぎれば社会の混乱期も治っていくわけです。

混乱期という言葉が出ましたが、今は混乱期の入り口あたりで今の状態が底なわけではありません。

あまりネガティブなことは言いたくありませんが、これは私が勝手に考えている事ではなく、潮流として農業にシフトしていく流れが活性化しているという現状があるわけです。

基本的に今の流れは・・・

- ・マイナンバー
- ・ワクチン接種
- ・通貨のデジタル化
- ・AI化による効率化と管理

が主流になっていきますが、その対極としての農業的なアプローチがあるわけです。

## コロナの今後

今、このレポートを書いているのが

2020年7月24日。

昨日、コロナ感染者数が981人になりました。

今年一番の感染者数です。

このレポートをあなたが読む頃は1日1000人突破している可能性も高いです。

「今後どうなってしまうのだろうか？」

「感染者が増えているのにGO TOキャンペーンで旅行に行け？」

「東京アラートはどうなった？」

と思っている人は多いと思います。

この辺はいくつかの問題（献金や政治的な要素含む）というか要素が複合的に錯綜しているので、一言では表せませんが、大元の要因を踏まえて一つ予測をするならば・・・

「今後、8月～9月に向かって感染者数は伸びていく可能性が高い」

「今の程度では政府は緊急事態宣言は出さない」

「今年の11月までにコロナ騒ぎは終息させる予定」

というのが見えてきます。

なぜそうなのか？

今の現状には様々な要素が複合的に錯綜していると言いましたが、表面的には・・・

・PCR検査の数が4月は多い日で1日に4000人が7月は1万6000人で4倍以上になっている。

というのがあげられます。

(厚生労働省HPより)

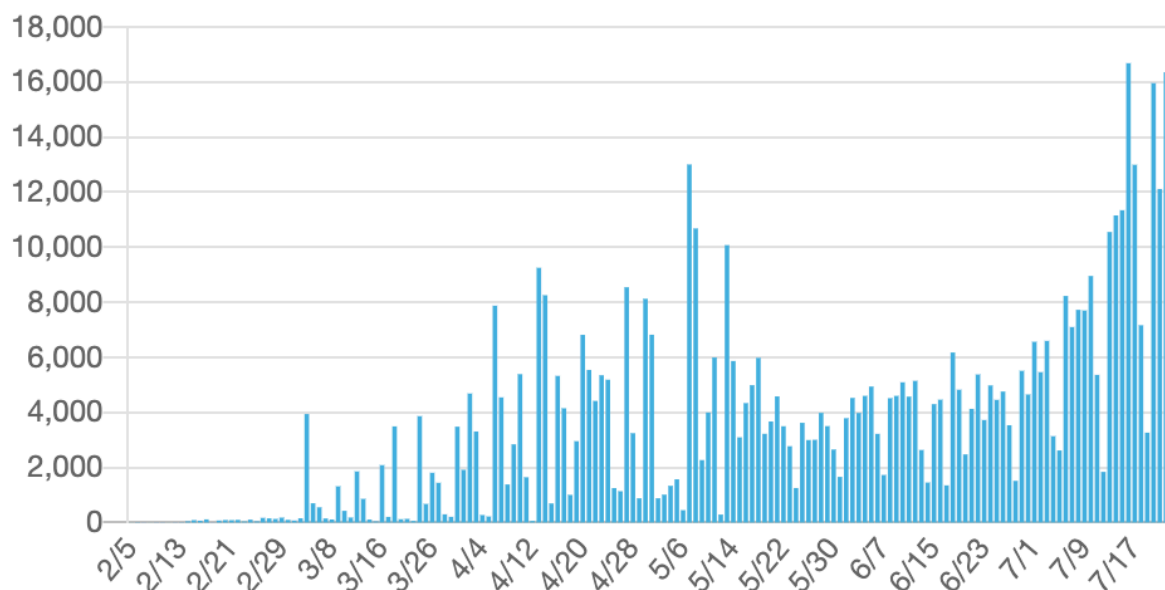
この辺の問題、例えば・・・

- ・PCR検査で陽性＝発病者ではない
- ・重篤化は低く死亡率は一日数人
- ・日本人は重篤化しにくく死亡率が2桁低い

などの問題を考えると、更に詳細な考察にはなっていくます。

## PCR検査実施人数

8,310 人  
(累計 587,393 人)



ただ、本質的には少し違うというか、今回お話ししたいことと少し違います。

結論からいうと、これは推測なのですが一言で表すと・・・

## 集団免疫風な

「一回感染拡大すれば後はそれほど拡がらないから、秋までにピークをもっていった11月までになんとかしよう」

というのがどうやら本音だと思います。

これはどういう事かという、例えばニューヨーク。

少し前まで世界で一番感染爆発した地域でした。

しかし、今はまだ一部制限はあるにせよ通常モードに移りつつあります。

つまり、一度、「バーツ」となったら後は落ち着く。

イタリアなんかもそうです、あれだけ死体がゴロゴロとなったのに、もう観光しにきてとアピールしていますし、通常モードに戻りつつあります。

もちろん、何もしないでただ傍観しているブラジルのようなやり方だと重篤化や死亡者が増えすぎてしまいますので、ある程度の配慮はしています。

しかし、厳しいロックダウンというのはもうやっていない。

そういった一時は感染爆発したニューヨークやイタリアの例を踏まえて・・・

「11月にアメリカ大統領選があるし冬も来るから、それまで厳しいロックダウンはしないで一回感染させといてみよう」

というのがどうやら本音だと思います。

日本の場合は何事もアメリカに右へならえですから・・・

「感染者数が一日千人程度なら緊急事態宣言は出さない」

というように上の方で決まったのだと推測します。

もちろん、PCR検査で陽性数が1日2000前後になったら、部分的（東京や大阪など）な緊急事態宣言は発令するかもしれません。

しかし、前回行ったような国単位での発令は1日1000人ぐらいたと行わないでしょう。

ただ、表立っては・・・

「根絶出来ないので感染させて集団免疫を目指す」

とも言えないので、こういったわかりにくい状態が続いているのでしょう。

集団免疫風と言ったのは抗体がどのように出来て維持されるのかが、まだ完全に把握されているわけでは無いので現状としてニューヨークやイタリアが再度、感染爆発する心配が無いので仮にですがそう名づけました。

という事でだいぶハシヨリしましたが、予測の一つとしては以上です。

## 復活の日

このように2020年の前半は波乱に満ちた年となっております。

この流れは今後も加速していくでしょう。

今まではどちらかというと危機管理・サバイバルという視点から敢えて厳しい現状をお伝えしましたが最後に明るい話題。

現在起きている変化でポジティブな側面としては・・・

「日本が復活する兆しがある」

という事です。

ちなみに、私は政治的に右でも左でもないのですが、現状で起きていることを簡単にお話してみます。

一言でいうと・・・

「日本は中国に変わって躍進出来るポジションについた（かもしれない）」

という事です。

これはどういう事か？

私は今年で55歳なのですが、10代の終わりから20代の初めの頃はバブル景気でした。

「ジャパン・アズ・ナンバーワン」

という本のタイトルがまだ印象として残っています。

金の力にもものを言わせて・・・

- ・アメリカの象徴ロックフェラー・センターを三菱地所が約2000億円で購入
- ・クレジット市場の44%を日本の銀行が占める
- ・ゴッホのひまわりなどの名画を買いまくる
- ・F1 チームを買いまくる

などを行ってきました。

それがアメリカの逆鱗に触れたのでしょう。

その後、長い間不景気が続くわけです。

その間に台頭してきたのが中国。

ご存知のように今の中国はアメリカに対抗するほどの経済力を見せています。

しかし、それがここに来て大分変化しています。

## TikTok規制

ここ数年のニュースで言えばファーウェイとアメリカの確執は有名ですね。

最近で言えばTikTok。

7月に入ってアメリカが・・・

「TikTokは使うな！」

というニュースが流れ来ました。

既に米中はお互いの駐在領事館を閉鎖するなど対立は激化していますが、このTikTokもアメリカの同盟国は規制が始まる気配です。

これはTikTokだけでなく、中国関連のアプリ全てに波及する可能性もあります。

(例えばインドは中国製のアプリ59種類を禁止)

これは何を意味するかというと、かつての日本がアメリカの逆鱗に触れたように、今、中国がアメリカを怒らせているという話。

それにより、長い間干されていた日本が再度、アメリカの寵愛を受ける風が吹いている、つまりバブル景気で叩かれる前の良好な関係に戻っているという話。

具体的にはファイブアイズという言葉があります。

## ファイブアイズ+3

ファイブアイズとは・・・

- ・アメリカ
- ・英国
- ・オーストラリア
- ・カナダ
- ・ニュージーランド

の5カ国と

- ・日本
- ・ドイツ
- ・フランス

の3カ国で計8カ国が連携をとっていこうという内容。

逆に言えばそれだけ中国の台頭が著しいとも言えます。

このファイブアイズを念頭におくと、ファーウェイ排除にイギリスが動いたりEU離脱（EUは基本的に中国が優勢）した流れもわかると思います。

このように再びアメリカと強くタッグを組んだ事により、様々な分野で日本とアメリカの共同開発によるテクノロジーや製品が再び世界へという流れになってきます。

ですから、今は変動期ですから一見マイナスの事柄が数多くみうけられますが、何事も・・・

- ・100パーセント良い
- ・100パーセント悪い

と単純には判別出来ません。

一見悪いように見えても、その中で新しい胎動の兆しがあるものです。

## 視点で変化

また、私たちは・・・

「実際に起こっている事よりもその物事をどう捉えるか」

の方がとても重要になってきます。

変化が起こっているのをただ恐れおののいて、そこに暗い未来をみるか？

それとも、その中でプラスの要素を見て希望を持って一步踏み出すのか？

で大きく変わってきます。

また、精神世界的な観点から言えば、こういった世界に今は無自覚であれ、ある意味望んで生まれ出たわけです。

例えばですよ？

遊園地に行ったとします。

ジェットコースターに乗って・・・

「落ちるときに気持ち悪いし、速いから嫌だ」

とか、お化け屋敷に行って・・・

「怖いしびっくりするから嫌だ」

とか、アトラクションに文句ばかり言ってたら、行った意味ないじゃないですか？

逆に楽しもうと思えば、凄く楽しいわけです。

これと一緒にある意味、地球という遊園地で様々なアトラクションがあるわけですが、そこでひたすら嫌悪感を抱くか、あるいは楽しむ視点で体験するかで大きく変わってきます。

様々なサバイバル的なテクニックをお話しましたが、このように楽しむ視点を是非取り入れてみてはいかがでしょうか。